



日本共産党台東区議団

お だか あきら
小 高 明

国民健康保険について

問 ①区の窓口・電話に寄せられた保険料引き上げに対する区民の声を、どのように受け止めたのか。②区民負担の軽減に向けた取組みを、区長会に提案する決意はあるのか。③保険料賦課方式の変更に伴う経過措置の延長を、区長会において強く主張してはどうか。**答** ①区民の皆様からの保険料に関する質問や意見、相談は真摯に受け止め、丁寧な説明を心がけている。今後も制度の適正な運営に努めていく。②制度の安定的かつ継続的な運営に向けて、国庫負担金割合の引き上げや低所得者層に対する負担軽減策の拡充、強化などについて、引き続き全国市長会などを通じて国へ要望していく。③経過措置の終了に伴う区民負担の緩和策は必要と考える。25年度以降の経過措置の取り扱いについては、現在、特別区長会において検討している。

その他の質問項目 1. 今後の区政運営について 2. 地域主権について

教育問題について

問 ①小・中学校の適正規模適正配置や学校の統廃合について、どのように総括しているのか。また、中学校選択制度は災害時の対応等の観点からも問題の多い制度であるため、見直すべきではないか。②難聴通級学級のある柏葉中学校について、教育委員会は他区からの通級の希望を認めない方針を決定したが、難聴の生徒が区外からの生徒も含めて集団生活を送ることに意義がある。柏葉中学校が果たしてきた役割を評価し、来春、希望者全員が校内通級できるようにすべきではないか。**答** ①台東区立小中学校適正規模適正配置は、平成21年4月に終結した。現在、児童・生徒数に対する学校数・学級数はほぼ適正な状況にあると認識しており、今後も適切に対応していく。また、中学校選択制度は、保護者対象のアンケートで制度の継続を望む声が7割を超えるなど、肯定的な意見が多数となっている。こうした意見を踏まえ、今後もより良い制度となるよう努めていく。②柏葉中学校の難聴学級は、通級学級として大きな役割を果たしてきた。来年度は同中学校への選択者数が大幅に増加し、通学区域外や他区の生徒の受け入れができない状況である。区外からの入級希望者などは、それぞれの在籍校から通級していただきたいと考えている。



無所属の会・台東

はや かわ た ろう
早 川 太 郎

がん対策について

問 より発見率の高い検査の機会提供など、がん検診についての検討を行うことにより、がん対策について区の積極的な姿勢を示していくべきではないか。**答** 「健康たいとう21推進計画」において、がん対策の充実を重点

的取組みとして掲げ、がん検診の受診率と質の向上等を進めていく。今後、医療機関等との連携を深め、早期発見、早期治療につながるがん検診の実施方法などについて検討していく。

初期消火の充実について

問 初期消火活動を推進するため、各避難所へのD級可搬ポンプの配備やスタンドパイプの積極的な導入、消火用資源を記した地図の配布を実施すべきではないか。**答** D級可搬ポンプやスタンドパイプの取扱いを各種訓練で実施するなど、初期消火対策の強化に努めるとともに、消火用資源の地図化を関係機関と連携しながら進めていく。



台東区議会自由民主党・無所属の会

あずま く に こ
東 久 仁 子

緑内障検診の受診率向上と眼の健康を啓発する取り組みを

問 ①緑内障は、日本人の失明原因の第1位であるが、区の緑内障検診受診率は大変低い。受診率向上に向け対象年齢を拡大する等、力を入れるべきではないか。②眼の健康は、さまざまな年齢層で課題が見受けられるが、意識と関心が低い現状がある。区ホームページ等での周知など、広く啓発に取り組むはどうか。**答** ①区は、60歳の方を対象に無料の緑内障検診を実施している。今後は、受診率向上に向けて、検診通知時にリーフレットを同封する等、効果的な受診勧奨に努めていく。検診対象年齢の拡大については、他自治体で

その他の質問項目 1. 浅草文化観光センターをより活用してもらうための改善と工夫を

の実施方法等について調査し、検討していく。②現在、緑内障検診や3歳児検診での視力検査を実施している。今後、健診の機会や、ホームページ等を活用し、眼の健康の大切さ等について、普及・啓発を行っていく。

認知症の早期発見と啓発・支援を行う取り組みを

問 ①認知症に対する気づきと自覚を促し、早期に発見し対応するため、ファイブ・コグ（集団認知検査）等の手法を取り入れ、認知症の発症予防・進行の遅延につなげてはどうか。②区は認知症サポーター増加に向け、養成講座を通じ一般企業にも呼びかけているが、区内のスポーツ団体や老人会等にも働きかけを広げてはどうか。**答** ①認知症の正しい理解と予防促進のため、セミナーや専門相談等を実施している。ファイブ・コグも有効な手段であり、この活用も含め、早期発見と進行を遅らせる取組みを積極的に進める。②多くの人にサポーターになっていただくことが重要であり、今後とも講座内容等の充実を進めるほか、区内団体の参加促進に積極的に取り組んでいく。また、高齢者保健福祉計画に示した認知症地域支援推進員を配置し、介護と医療の連携や地域における関係協力機関との支援体制を構築する。



台東区議会区民クラブ

きの した えつ き
木 下 悦 希

ドッグランについて

問 これまで続けてきたドッグランについての質問の基本的な姿勢は、新しいコミュニティの創設である。取組みをさらに進めていくために都と交渉し、地域の公園にではなく、上野恩賜公園内にドッグランをつくるか、隅田公園内にペットコミュニティエリアをつくる方向で進めてはどうか。**答** 上野恩賜公園や隅田公園内への設置は、近隣への影響が比較的少なく、一定の面積を確保しやすい面があると認識している。上野恩賜公園については、他の都立公園の設置事例もあるため、都に設置を働きかけていく。また、隅田公園へのペットコミュニティエリアの設置については、ペットをきっかけ

その他の質問項目 1. 教育委員会のあり方について 2. 保育における行政の役割について

とするコミュニティ活動の機運の醸成が進んでいる状況も踏まえ、設置場所や運営にかかわる諸課題の解決を目指して検討を進めていく。

学校給食について

問 教育委員会と学校の努力により、学校給食における区内業者の米納入率が増加したと聞かすが、これまでどのように取り組み、どの程度の納入状況となっているのか。また、今なお区内業者以外からも調達する理由は何か。さらに、これからの方向性を伺う。**答** 各学校へ価格・品質などの情報提供を行い、柔軟な対応を働きかけた結果、平成20年度には9.5%だった区内業者からの米の納入率が23年度には44%となった。米については、米飯給食導入時より、公益財団法人東京都学校給食会から購入してきた経緯があるが、現在は区内業者においても、安全・安定供給・低価格の条件のもと納入されている。教育委員会としては、引き続き学校に対して情報提供し、区内業者育成の観点も踏まえ、納入業者の選定に努めるよう働きかけていく。



台東区議会みんなの党・無所属クラブ

ほり こし ひで お
堀 越 秀 生

補助金について

問 ①交付の際に重要なのは公益性の確保の徹底であるため、申請時の事務処理には厳しいチェックが求められる。事務処理を明文化し、更なる適正化を進めてはどうか。②より公正性・適正性を確保するため、実績報告書は外部監査を実施してはどうか。③関係書類を議会に公開すべきではないか。④不正受領等の対応はどうか。**答** ①交付規則等で規定しており、

その他の質問項目 1. 予算編成について

基本指針で交付要件を明確化した。規定に沿って公益性や効果等を検討し、交付している。②提出される実績報告書等は精査し、執行の適正性を確認し、監査も受けている。外部監査は必要性を判断しながら検討していく。③区が保有する情報であり、公開が原則である。具体的な公開内容は個別に判断する。④不正な手段により交付を受けた場合には、決定を取り消し、補助金を返還させる。そのような事態が発生しないよう適切に指導していく。

本庁舎1階・区民が安らぐカフェの設置について

問 区役所本庁舎1階に、インターネットが利用でき、観光案内、各種電子申請の案内等のある、安心してくつろげるカフェを設置してはどうか。**答** 1階は、窓口サービス、アートギャラリー等に活用している。来庁者の導線確保等多くの課題があるが、今後研究していく。